

2026 年 7 月



FDI AGENDA



投資・財務局からのメッセージ

6 月はトルコの投資アジェンダにとってダイナミックな月であり、6 月 4 日に官報で主要な投資・税制改革パッケージが公表されたことから始まりました。「トルコの世紀における投資の原動力」プログラムの下でレジェップ・タイイップ・エルドアン大統領によって発表されたこれらの改革は発効し、実施が開始され、国際企業、グローバルなビジネス機能、外国資本、および優秀な専門家をトルコに誘致するための重要なインセンティブが導入されました。また、同月には、イスタンブールで開催された第 3 回グローバル・イスラム経済サミットでのレジェップ・タイイップ・エルドアン大統領による重要な演説も行われました。「イスラム経済における資本：持続可能な開発のための富の構築」をテーマに、参加型金融およびスークセクターの主要人物が一堂に会しました。

同月はまた、投資・財務局の設立 20 周年を記念して立ち上げられた「20 Years of Excellence (卓越した 20 年)」キャンペーンによって特徴づけられました。アムステルダム、ローマ、北京、ベルリン、

ブリュッセル、サンディエゴで開催されたハイレベルなレセプションでは、トルコの FDI（外国直接投資）の歩みが世界のビジネスコミュニティに紹介され、国際的な投資家やステークホルダーとの対話が強化されました。中国での周年記念ロードショーの一環として、同局はまた、中国の投資家や業界代表者との 2 回の円卓会議を主催し、トルコの投資環境を提示し、二国間の経済協力を深める機会を探りました。

参加型金融は、月を通じて重要なテーマであり続けました。トルコ・マレーシア・イスラム資本市場フォーラム、IFN インドネシア・フォーラム 2026、バクーでの同局の取り組み、そしてトルコ参加型金融オープンデータ情報センターを設立するためにイスタンブール金融センターおよびイブン・ハルドゥーン大学と署名された協力議定書はすべて、イスラム資本市場、起業家精神、持続可能な金融における国際協力を深めるというトルコの野心を支えるものでした。

テクノロジーとイノベーションも、トルコの国際的なアウトリーチの最前線にあり続けました。投資・財務局は、産業技術省とともに、パリで開催された VivaTech 2026 でトルコを代表し、そこで HIT-30 ハイテク投資プログラムの初の国際レセプションも開催されました。ヘルスケアテクノロジー、バイオテクノロジー、臨床研究、AI 主導のソリューションにおけるトルコの潜在能力が、サノフィとの専用セッションで強調されました。トルコのスタートアップ企業やテクノロジー企業は、GITEX Ai Europe 2026、ロンドン・テック・ウィーク、We Make Future 2026、その他の主要なグローバル・イノベーション・プラットフォームでさらに紹介されました。

同局はまた、主要な国際的関与を通じて、トルコのセクター別投資機会の促進を継続しました。ロンドンでのトルコ・エネルギー転換投資フォーラム、BIO インターナショナル・コンベンション 2026、そして ANT Systems 社と Labeau 社による最近の投資発表は、クリーンエネルギー、先端製造、ライフサイエンス、テクノロジー主導の成長におけるトルコの能力の高まりを反映しています。このアジェンダは、中国で開催された世界経済フォーラム（WEF）のニュー・チャンピオン年次総会（サマー・ダボスとも呼ばれる）、FII PRIORITY ヨーロッパ、欧州・バルカン拡大諮問評議会会議、AHK トルコ経済会議、サウジ・トルコ円卓会議、韓国での投資ロードショー、および The World Meets in Giessen 2026 への同局の参加によってさらに強化されました。

これらの関与を通じて、投資・財務局はトルコのグローバルな投資の物語を強化し、国際的な投資家、ビジネスコミュニティ、機関パートナーとの対話を深め続けました。トルコが投資、金融、イノベーション、テクノロジー、人材の拠点としての地位を前進させる中、同局は質の高い投資を促進し、持続可能な長期成長を支援することに引き続き取り組んでいます。



A・ブラク・ダールオール 投資・財務総裁



レジェップ・タイIPP・エルドアン大統領が第3回グローバル・イスラム経済サミットで参加型金融の役割の高まりを強調

第3回グローバル・イスラム経済サミットは、「イスラム経済における資本：持続可能な開発のための富の構築」をテーマに、イスタンブールにおいて参加型金融およびスーク（イスラム債）界の主要人物が一堂に会しました。投資・財務局、トルコ・ウェルス・ファンド、イスタンブール金融センター、イスラム協力青年フォーラム、およびイブン・ハルドゥーン大学との協力のもと、アル・バラカ・フォーラムが主催したこの4日間のイベントでは、イスラム金融の未来と、進化する世界経済におけるその役割についての議論が行われました。

イスタンブール金融センターのハルクバンク本社で開催された公式開会式で演説したレジェップ・タイIPP・エルドアン大統領は、世界経済の動向と参加型金融の重要性の高まりについて重要な見解を共有しました。エルドアン大統領は、2026年第1四半期に世界の債務が350兆米ドルに達したことに言及し、正義、倫理、生産、公平な分配を中心とした新しい経済・金融パラダイムの必要性を強調しました。

イスラム経済の原則を強調し、エルドアン大統領は、このシステムは正義、道徳、リスク共有、持続可能性、社会福祉といった価値観に基づいて構築されており、経済発展だけでなく、社会的結束や環境保護も支援していると述べました。同大統領は、参加型金融をイスラム経済の不可欠な構成要素であり、世界金融システムにとってより公平で安全なモデルであると説明しました。

エルドアン大統領は、銀行、資本市場、保険、貯蓄金融、社会金融を包含する参加型金融が、新しい世界金融アーキテクチャの構築に大きく貢献し得ると述べました。同大統領は、トルコが参加型金融を経済発展と金融安定の両面における戦略的柱と見なしていることを強調し、イスタンブール金融センターの2つの重要な柱のうちの1つはフィンテックであり、もう1つは参加型金融であると指摘しました。トルコを投資と金融の世界的拠点にするという野心を強調し、レジェップ・タイIPP・エルドアン大統領は、同国の投資環境を強化するために設計された最近の改革についても言及しました。エルドアン

大インセンティブ・プログラム・プログラムにより、イスタンブール金融センターで事業を行う参加型金融機関が創出する輸出収益に適用される法人税の課税所得控除が 2047 年まで延長されたと発表しました。追加措置には、金融活動手数料の免除期間を 5 年から 20 年に延長することや、銀行・保険取引税、印紙税、および適格な外国人従業員を対象とした税制優遇措置の導入が含まれます。

大統領はさらに、イスタンブール金融センターで事業を行う企業が中継貿易および海外仲介活動から得た収益は現在法人税が免除されており、同センターでは新たに設立されたワンストップショップが最近業務を開始したと述べました。また、2027 年から 2030 年までの期間を対象とする参加型金融戦略文書の準備が進められていることを明らかにしました。

同セクターの継続的な成長を指摘し、エルドアン大統領は、参加型銀行の資産が 4.7 兆トルコリラを超え、銀行業界における同セクターのシェアが 9.5 パーセントに上昇したと述べました。トルコは現在、3 つのデジタル銀行を含む 10 の参加型銀行を擁しており、スクークの発行額は 2025 年末までに 6140 億トルコリラに達しました。エルドアン大統領は、参加型投資ファンド、年金基金、上場投資信託、および貯蓄金融機関がいずれも大幅な成長を記録しており、官民双方の参加者からイスラム金融商品への需要が高まっていることを反映していると指摘しました。

大統領によれば、これらの進展はトルコの金融システム内における参加型金融の地位強化を実証するものであり、イスラム金融の主要な世界的中心地となるという同国の野心を強化するものです。



「投資の原動力」改革パッケージが官報掲載を経て発効

トルコは、2026年4月24日にイスタンブールのドルマバフチェ執務室で開催された「トルコの世紀における投資の原動力」プログラムにおいて、レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領が発表した一連の主要な投資および税制改革を制定しました。投資・財務局が主催したこのプログラムには、トルコで事業を展開する主要な国際企業の幹部や政府高官が一堂に会しました。

本プログラムに続き、発表された改革パッケージの大部分が、2026年6月4日付官報第33270号における法律第7582号の公布をもって施行されました。本法は、国際企業、グローバルな事業機能、外国資本、および優秀な専門家をトルコに誘致することを目的とした重要なインセンティブを導入しています。

主要な改革の一つは、多国籍企業がその地域的およびグローバルな管理、調整、支援機能をトルコに配置することを奨励するために設計された、適格サービスセンター制度の確立です。少なくとも3カ国で関連会社にサービスを提供する適格センターは、適格海外源泉所得の95%を法人税の課税標準から控除することができます。この控除は、イスタンブール金融センターおよび指定された工業地帯で運営されるセンターについては100%に引き上げられ、関連する条件に従い、最大20会計期間まで適用される可能性があります。

本法はまた、中継貿易および海外取引活動に対する税制優遇措置を拡大しています。適格な企業は、商品がトルコに入ることなく完全に海外で行われる取引から生じた利益に対して、95%の法人税控除を受けることができます。この控除は、イスタンブール金融センターおよび指定された工業地帯で運営される適格企業については100%に引き上げられます。

さらなる措置として、国際的な人材と資本の誘致を図ります。トルコに移住し、税務上の居住者となった適格な個人は、海外で得た所得および利益に対する 20 年間の所得税免除を受けることができます。本法はまた、海外で保有されている適格な資金、金、外貨、証券、およびその他の資本市場商品を含む資産還流メカニズムを導入しています。

本改革は、適格な金融サービス輸出所得に対する 100%の法人税控除を 2047 年まで延長することにより、イスタンブール金融センターをさらに強化するものです。投資・財務局のワンストップ・オフィス・モデルに関する取り組みも継続しており、投資手続きを簡素化し、国際的な投資家に単一の調整窓口を提供することを目指しています。

これらの措置を通じて、トルコは投資、金融、貿易、人材、および高付加価値の企業サービスにおける競争力のある拠点としての地位を強化しています。



トルコ、人工知能サミットで AI アクションプランを発表

トルコは、イスタンブールで開催されたトルコ人工知能サミットにおいて、「2026-2030 年 AI ビジョンおよびアクションプラン」を発表しました。レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領、ジェヴデット・ユルマズ副大統領、メフメト・ファティ・カジュル産業技術大臣をはじめとする政府高官、技術リーダー、起業家、業界代表者らが出席した本サミットは、トルコのデジタル変革の旅路における重要な節目となりました。

サミットで演説したレジェップ・タイイップ・エルドアン大統領は、トルコを AI 分野で世界をリードする国々の仲間入りをさせるための包括的な国家ロードマップの概要を説明し、「トルコの世紀」をデジタル生産の世紀にするという政府の決意を改めて表明しました。

エルドアン大統領は、本アクションプランが「発見 (Discover)」、「活用 (Benefit)」、「生産 (Produce)」、「統治 (Govern)」という 4 つの柱で構成されていると発表しました。「発見」の柱の下で、国家 AI リテラシー・プログラムが 2 年以内に 500 万人の市民にトレーニングを提供し、1 万人の高度 AI スペシャリストと 10 万人の AI アプリケーション専門家を育成することを目指します。国家データライブラリは、少なくとも 2,000 の公開データセットを研究者、起業家、公共機関が利用できるようにします。

「活用」の柱の下で、AI は公共サービス、産業、医療、農業、セキュリティ全体に体系的に統合されます。データセンターの容量は 2030 年までに少なくとも 1GW に増強され、公共投資プログラムの少なくとも 2% が AI プロジェクトに割り当てられ、公共部門は国内で開発された AI ソリューションの主要な顧客としての役割を担います。

「生産」の柱の下で、AI 成長ゾーンが設立され、国家 AI 研究基金と AI 成長基金に支えられた投資準備の整ったキャンパスや迅速なプロトタイピング施設が提供されます。エルドアン大統領はまた、トルコの独自大規模言語モデル（LLM）を開発するという政府のコミットメントを再確認し、TÜBİTAK による進行中の取り組み、Baykar と協力した T3 財団、そして重要なマイルストーンとしての HAVELSAN の 90 億パラメータモデルを強調しました。

「統治」の柱の下で、AI インフラストラクチャに対して主に民間部門から少なくとも 100 億米ドルの投資が動員され、国際的な投資家には 30 営業日以内にワンストップの投資ロードマップが提供されます。イスタンブールはトルコの国際的な AI ショーケースおよび投資外交のハブとしての役割を果たし、ターミナル・イスタンブールは起業家とグローバル投資家の出会いの場として位置づけられます。トルコはまた、OECD、G20、国連のプラットフォーム全体で、人間中心の AI 基準を形成する上で積極的な役割を果たすことを約束しました。

アクションプランは 1 兆トルコリラを超える付加価値を生み出すと期待されており、テクノロジー、イノベーション、デジタル生産の結節点としてのトルコの地位を強化すると同時に、AI 主導の成長と投資における地域の主要なハブとして浮上するという同国の野心を強調しています。



シムシェキ大臣が野村インベストメント・フォーラム・アジア 2026 に参加

メフメト・シムシェキ財務大臣は、野村インベストメント・フォーラム・アジア 2026 の「トルコの金融安定への新たな道」と題されたセッションにビデオ会議形式で参加し、トルコの最新の経済見通しと政策の優先事項を国際的な投資家と共有しました。

シムシェキ大臣は、地政学的な不確実性の高まりや周期的な外部ショックによって特徴づけられる複雑さを増す世界環境の中で、トルコが経済プログラムを追求し続けていることを強調し、こうした進展が進歩のペースに影響を与える可能性はあるものの、プログラムの全体的な方向性を変えることはないと言いました。大臣は、デysinフレプログラムに対する政府のコミットメントを再確認し、世界的な課題にもかかわらずインフレは低下傾向を続ける見通しであり、年末のインフレ率は 20% 台半ばに達すると予測されていると述べました。

シムシェキ大臣は、トルコの強力な財政規律の実績を強調し、過去 23 年間の同国の平均財政赤字は GDP の 2.6% にとどまっていると指摘しました。大臣は、規律ある公共支出、税務コンプライアンスと監査メカニズムの強化、歳入徴収の改善、そして非正規経済を削減するための継続的な取り組みに支えられ、財政赤字は 2025 年には GDP の 2.9% まで低下すると予測されていると付け加えました。

シムシェキ大臣はまた、トルコは特定の対米ドル為替レート目標を追求していないことを強調し、現在の経済プログラムの開始以来、トルコリラへの信頼が大幅に高まっていると指摘しました。大臣は、この改善は慎重な金融政策の継続的な実施と、外貨準備高の大幅な強化によるものであり、世界的な市場変動の時期に対する経済の回復力を高めていると述べました。

対外収支について、シムシェキ大臣は、エネルギー価格の上昇が経常赤字に多少の上昇圧力を与える可

能性があるものの、全体的な影響は抑制された範囲にとどまると予想されると述べました。

大臣は、回復力のある輸出、国内需要の緩和、輸出の多様化による利益が、外部からの逆風を相殺するのに役立つと予想されると指摘しました。大臣はまた、グローバル・サプライチェーンの再構築、有利なユーロ/ドルパリティ、および高付加価値輸出のシェア拡大が、引き続きトルコの対外パフォーマンスを支えていると強調しました。その結果、経常赤字は GDP の約 3%程度にとどまり、長期平均を下回ると予測されています。

トルコの投資環境と国際競争力をさらに強化するための政府の取り組みの一環として、シムシェキ大臣は政府の新しいインセンティブパッケージの概要も説明しました。これには、製造企業の法人税率を 12.5%に引き下げることや、高度なスキルを持つ専門家、起業家、科学者、投資家、ビジネスエグゼクティブをトルコに誘致するために設計された新しい「ノン・ドム（非居住者）」税制の導入、さらに会社設立、許認可、税務、土地、インセンティブに関する投資・財務局の下での「ワンストップショップ」の設立が含まれます。



トルコとドイツ、第 6 回 JETCO 会議で投資・貿易パートナーシップを前進させる

トルコとドイツは、アンカラで開催された第 6 回経済貿易合同委員会（JETCO）会議において、二国間の経済協力を深化させるというコミットメントを再確認しました。同会議は、オメル・ボラット貿易大臣が主催し、ドイツの連邦経済・気候保護大臣であるカテリーナ・ライヒ氏と共同議長を務めました。この会議には、政府高官やビジネスリーダーが集まり、貿易、投資、産業、エネルギー、グリーンおよびデジタル変革、輸送、接続性、そして第三国における共同プロジェクトにおける協力拡大の機会について議論しました。

二国間会談において、ボラット大臣とライヒ大臣は、欧州の競争力とグローバル・サプライチェーンの強靱性にとって、トルコ・ドイツの経済パートナーシップが戦略的に重要であることを強調しました。両氏の議論では、関税同盟の近代化、ビザ取得の円滑化、欧州の産業政策、そして欧州のバリュー・チェーンにおけるトルコの役割についても取り上げられました。

JETCO の公式セッションでは、貿易、産業、観光、第三国での協力に関する 4 つのワーキンググループ全体での進捗状況が検討されました。会議終了後、両大臣は JETCO 議定書に署名し、両国間の将来の商業および経済協力に向けたロードマップを策定しました。

プログラムの一環として、貿易省と外国経済関係委員会（DEİK）は「トルコ・ドイツ・ビジネス・ワールド・ラウンドテーブル」を主催し、製造業、エネルギー、インフラ、物流、観光、ヘルスケア、建設、先端技術などの戦略的分野の主要企業が一堂に会しました。

ボラット大臣はビジネスリーダーに向けた演説で、ドイツは依然としてトルコの最大の貿易相手国であり、二国間貿易額は 520 億米ドルを超えていると強調しました。

同大臣は、レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領とドイツのフランク＝ヴァルター・シュタインマイヤー大統領が掲げたビジョンに沿って、両国は二国間貿易額を 600 億米ドルに引き上げることを目指していると述べました。

ボラット大臣はさらに、二国間の経済協力の次の段階は、投資、技術、産業協力、そしてグローバル・バリュー・チェーンへの統合に重点を置くと述べました。

同大臣は、トルコの強力な製造基盤、戦略的な立地、ダイナミックな民間セクターが、ドイツの技術的専門知識および資本と結びつくことで、持続可能な成長と新たな投資機会のための強固な基盤が提供されると付け加えました。



カジュル大臣、データセンターおよび AI 投資を加速させるための 30 億米ドルの公的資金プログラムを発表

メフメト・ファティ・カジュル産業技術大臣は、トルコの AI エコシステムとデジタルインフラを強化するための包括的なイニシアチブを発表しました。これには、データセンターおよび AI 技術への 100 億米ドルの民間投資を促進することを目的とした、30 億米ドルの公的資金の拠出が含まれます。

イスタンブールのユルドゥズ工科大学会議文化センターで開催された「AI at Work」卒業式で講演したカジュル大臣は、国家の AI 能力、人材育成、データインフラを拡大しながら、主要なデジタルハブとなるというトルコのビジョンを概説しました。

AI の導入と投資を加速させるという政府のコミットメントを強調し、カジュル大臣は次のように述べました。「我々は、データセンターおよび AI 投資に対して約 30 億米ドルの公的資金を提供することにより、100 億米ドルの民間投資を動員します。同時に、公共投資支出総額の少なくとも 2% を AI プロジェクトに割り当てます。そうすることで、我々は国家経済に対して 1 兆トルコリラ以上の価値を生み出します」

この取り組みの一環として、トルコは AI 成長ゾーンを設立し、デジタルインフラを拡充し、国内のデータセンター容量を増強する計画です。政府はまた、トルコを地域のデジタルハブとして位置づけるための措置を通じて、民間セクターの投資を加速させることを目指しています。

大臣はまた、今後 2 年間で全 81 県にわたる 500 万人の市民に AI トレーニングを提供する、全国的な AI リテラシーキャンペーンを発表しました。さらに、トルコは同国の成長するテクノロジーエコシステ

ムを支援するため、10万人のAIアプリケーション専門家を育成することを目指しています。

AI開発におけるデータの重要性について、カジユル大臣は次のように述べました「私たちは、このプロセスにおけるデータの価値を十分に認識しています。私たちは、トルコのデータがトルコ国内に留まり、私たちのデータが独自のモデルを使用して処理され、そして私たちが独自のデータから価値を生み出せるようにするための新しい機会とメカニズムを創出します」

大臣はさらに、政府が保有するデータをAI開発者が利用できるようにする計画を発表し、次のように付け加えました。「私たちは、公共セクターのデータと大規模なデータセットをトルコのAI開発者が利用できるようにします。AI開発者が独自の国家的なソリューションを開発できるよう、少なくとも2,000の公開データセットを提供するという目標を設定しました」

カジユル大臣はまた、トルコの拡大するイノベーション・エコシステムを強調し、現在同国には114のテクノパーク、13,000社以上のテクノロジー系スタートアップ、1,700以上のR&Dおよびデザインセンターが存在すると指摘しました。同大臣は、トルコのR&D人材は過去23年間で29,000人から311,000人に増加し、年間のR&D支出は12億米ドルから199億米ドルに増加したと付け加えました。

これらの発表は、技術力を強化し、イノベーション主導の成長を促進し、デジタルインフラとAI投資における競争力のある拠点としての地位を再確認するという、トルコのより広範な戦略を反映しています。



トルコとマレーシアがイスラム金融の機会を模索

「トルコ・マレーシア間のイスラム資本市場における協力の推進」をテーマに開催されたトルコ・マレーシア・イスラム資本市場フォーラムには、政策立案者、規制当局者、学識経験者、業界リーダーが集まり、イスラム資本市場における協力を前進させました。

投資・財務局、マレーシア証券委員会、トルコ資本市場委員会（CMBトルコ）、イブン・ハルドゥーン大学とのパートナーシップのもとで開催されたこのフォーラムには、参加機関の上級代表者が集まりました。

フォーラムは、イブン・ハルドゥーン大学理事会副会長のネジュメッティン・ビラル・エルドアン氏、イブン・ハルドゥーン大学学長のアティラ・アルカン教授、投資・財務局副総裁のフルカン・カラヤカ氏、トルコ資本市場委員会副会長のアリ・エルドゥルムシュ氏、および投資・財務局財務部長のタルク・アクン博士による開会の辞で始まりしました。

フォーラムでは、参加型金融、規制の進展、国境を越えた投資機会、そしてイスラム金融の未来に関するダイナミックな国際パネルディスカッション、戦略的な円卓会議、ハイレベルなスピーチが行われました。

ハイライトとして、マレーシア証券委員会の代表者や国際イスラム金融教育センター（INCEIF 大学）会長のタン・スリ・アズマン・モフタール氏を含むマレーシアの著名なゲストによる講演や、DinarStandard の CEO 兼マネージングパートナーであるラフィ・ウッディン・シコ氏による世界イスラム経済状況（SGIE）に関するプレゼンテーションが行われました。





ケルンで強調されたトルコの投資機会

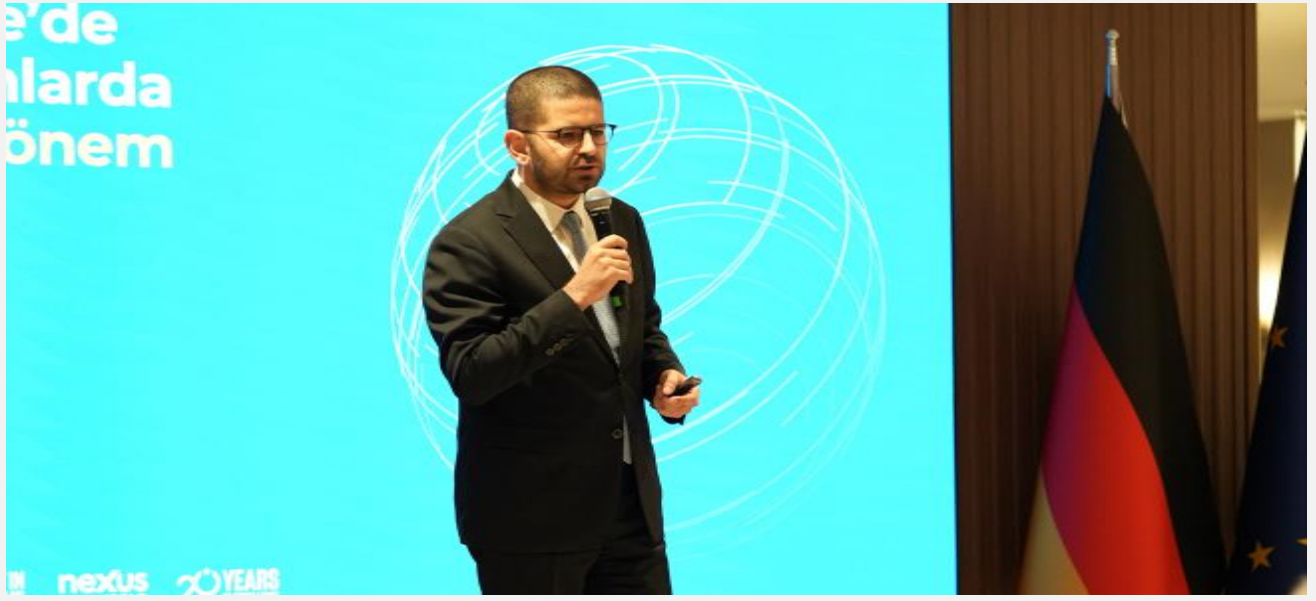
ケルンで MÜSiAD NRW が主催した欧州・バルカン拡大諮問評議会会議には、トルコ系ビジネスディアスポラのメンバー、投資家、起業家、そして欧州およびバルカン全域のビジネスコミュニティの代表者が集まり、投資、貿易、成長の機会について議論しました。

イベントに出席した来賓に向け、イリム・ヤイマ財団のネジュメッティン・ビラル・エルドアン理事長は、トルコが過去 23 年間で達成した経済変革に注目し、トルコ経済が 2002 年以来約 6.5 倍に成長したと指摘しました。

一方、投資・財務局の A・ブラク・ダールオール総裁は、「トルコの新たな投資パラダイムとグローバルなトルコ資本」と題されたパネルディスカッションにおいて、33 カ国のビジネスリーダーや代表者に向けて講演を行いました。ダールオール総裁は包括的なプレゼンテーションの中で、トルコが通過国から投資、生産、イノベーション、物流の地域的な拠点へと変貌を遂げたことを強調しました。同総裁は、急速に成長し回復力のある経済、改革への揺るぎないコミットメント、深く高度なスキルを持つ人材プール、そして戦略的な立地が、世界の投資家にとっての魅力の鍵であると強調しました。

「トルコは単なる架け橋であることを超え、貿易、投資、イノベーションの結節点となりました」と述べ、最近発表された「トルコの世紀における投資の拠点」インセンティブプログラムについての洞察も提供しました。

イベントの一環として、投資・財務局の国別アドバイザーであるチェティン・ナズィツコル博士も、「トルコにおける投資の新時代：トルコ企業のための新たな税制および構造化の機会」と題されたセッションにパネリストとして参加し、トルコで利用可能な投資機会について強調しました。





トルコ、VivaTech 2026 でテクノロジーとイノベーションのエコシステムを披露

投資・財務局と産業技術省は、欧州最大級のテクノロジーおよびスタートアップイベントである VivaTech 2026 のトルコ・パビリオンを通じて、トルコのダイナミックなテクノロジー、イノベーション、投資エコシステムを世界的な舞台に引き上げました。

パリで開催された VivaTech には、世界中から主要なテクノロジー企業、ベンチャーキャピタルファンド、投資家、起業家、公共部門の代表者が集まりました。

2023 年から定期的に VivaTech に参加しているトルコは、イベントの 10 周年を記念し、135 平方メートルのナショナルパビリオンと 26 社のテクノロジースタートアップの参加により、欧州有数のテクノロジーの祭典において強力な国家プレゼンスを示しました。パビリオンでは、AI、半導体技術、ヘルスケア技術、ロボット工学、SaaS、産業のデジタル化、ディープテックソリューションの分野で活動するトルコのスタートアップ企業が紹介されました。

プログラムの一環として、メフメト・ファティ・カジュル産業技術大臣と投資・財務局の A・ブラク・ダールオール総裁がソブリンティ・アリーナで基調講演を行い、世界のイノベーション環境におけるトルコの役割の高まりを強調しました。

カジュル大臣は挨拶の中で、トルコのテクノロジースタートアップの国際化を支援するという政府のコミットメントを強調しました。カジュル大臣は、「産業技術省として、投資・財務局と共に、トルコのテクノロジースタートアップの国際的なプラットフォームへの参加を支援しています」と述べ、トルコの起業家を世界の投資家やイノベーションネットワークと結びつけることの重要性を強調しました。

また大臣は、トルコが VivaTech 2026 に 26 社のテクノロジースタートアップを派遣したことにも言及しました。その中には、10 億ドル規模の評価額を目指すポテンシャルの高いスタートアップを支援する「Turcorn 100 プログラム」から 14 社が含まれています。

一方、A・ブラク・ダールオール総裁は講演の中で、世界の生産ネットワークが再編され、技術革新が

加速する中でのトルコの競争優位性を強調しました。ダールオール総裁は、「回復力、才能、イノベーションが投資決定においてますます決定的な要因となる中、トルコは強力な産業インフラ、若く熟練した労働力、活気ある起業家エコシステム、そして戦略的な立地によって際立っています」と述べました。ダールオール総裁はさらに、トルコが産業能力と急速に進化するスタートアップエコシステムを組み合わせることで、テクノロジー、イノベーション、投資の地域的および世界的な拠点としての地位を強化し続けていると付け加えました。





トルコ、パリで HIT-30 プログラムを紹介

HIT-30 ハイテクノロジー投資プログラムの初の国際レセプションが、産業技術省と投資・財務局の協力のもと、パリのトルコ大使館で開催され、フランスのビジネスおよび投資コミュニティの主要な関係者が一堂に会しました。

イベントで講演したメフメト・ファティ・カジュル産業技術大臣は、ハイテク分野の主要なハブとなるというトルコの野心に触れ、フランス企業に対し、成長、イノベーション、グローバル展開の次のフェーズに向けた戦略的パートナーとしてトルコを検討するよう呼びかけました。

カジュル大臣は、HIT-30 がトルコの歴史上最大のハイテク投資向けインセンティブプログラムであることを強調し、プロジェクトベースの投資インセンティブ、市場開発支援、魅力的な資金調達機会を含む包括的なパッケージを提供すると述べました。

トルコとフランスの強固な経済関係を強調し、同大臣は、現在約 1,700 社のフランス資本企業がトルコの幅広いセクターで事業を展開しており、フランスからの累積直接投資（FDI）は 88 億米ドルに達していると指摘しました。

このプログラムは、高付加価値生産を推進し、テクノロジーの結節点としての地位を強化するというトルコのコミットメントをさらに示すものです。



トルコとサノフィ、VivaTech 2026 でヘルスケア技術を議論

投資・財務局とヘルスケア大手のサノフィは、パリで開催された VivaTech 2026 のサイドラインで専用セッションを開催しました。投資・財務局の A・ダールオール総裁とサノフィ・ユーラシア地域プレジデントのジェム・オズテュルク氏が議長を務め、ヘルスケア技術、臨床研究、バイオテクノロジー、AI 主導のソリューションにおける地域的なパワーハウスとしてのトルコの可能性にスポットライトを当てました。

ダールオール氏は、ヘルスケアの未来は科学、データ、人工知能の交差点で形作られていると強調し、高付加価値の国際投資に向けた臨床研究、バイオテクノロジー、デジタルヘルスにおけるトルコの魅力的な見通しを強調しました。

オズテュルク氏は、AI が科学的発見を根本的に変革していると強調し、トルコの強固なデータインフラとダイナミックな研究エコシステムは、この勢いを生かすのに適した立場にあると指摘しました。同氏は、350 以上のセンターで実施された 60 以上の臨床試験を通じて、同国に対するサノフィの長期的なコミットメントを再確認しました。

熟練した人材プール、高度な研究能力、急速に拡大するデジタルヘルスインフラを備えたトルコは、テクノロジーとイノベーションの結節点として台頭しており、ヘルスケア投資の未来に向けた主要な目的地としての地位をさらに強化しています。



トルコ、ロンドンでエネルギー転換の対話を主導

投資・財務局は、ロンドン・クライメート・アクション・ウィーク期間中に、ブルームバーグおよびエナジー・シフト・キャピタルと共同で、ロンドンにてトルコ・エネルギー転換投資フォーラムを開催しました。

このフォーラムには、20 カ国以上の 150 を超える組織から 238 名の参加者が集まり、その資産および影響力のある資本は 10 兆米ドルを超えました。このイベントは、政策立案者、投資家、金融機関、インフラファンド、テクノロジー企業、業界リーダーが、トルコのエネルギー転換を支援する投資機会を探るためのプラットフォームを提供しました。

プログラムは、ムラト・クルム環境・都市化・気候変動大臣兼 COP31 議長指名候補と、アルパルスラン・バイラクトル・エネルギー天然資源大臣による基調講演で幕を開けました。両大臣は、エネルギー転換が気候変動対策として不可欠であると同時に、大きな経済的機会でもあることを強調しました。

閣僚による講演に続き、投資・財務局の公共・民間パートナーシップ部門長であるアリ・カミル・オズメン氏は、国際資本を誘致し、官民連携を強化してトルコのエネルギー転換を加速させるという同国の長期的なビジョンを強調しました。

フォーラムでは、投資・財務局のカントリーアドバイザーであるエルソイ・エルカザンジュ氏がモデレーターを務めたパネルディスカッション「トルコのエネルギー市場：機会、規模、投資事例」をはじめとする一連のハイレベルな議論が行われました。このセッションには、ポラット・エネルギー、ベーカー・ヒューズ、RES グループ、日立製作所のシニアエグゼクティブが参加し、市場機会、技術革新、そしてトルコの野心的なエネルギー転換目標を達成するために必要な投資について議論しました。プログラムは、投資家によるファイヤーサイドチャットとイノベーションショーケースへと続けました。

このイベントでは、ブルームバーグ NEF トルコ・トランジション・ファクトブックの発表も行われ、世界の投資家に対してトルコの進化するエネルギー情勢に関する貴重な洞察を提供しました。





トルコ・パビリオンが GITEX Ai Europe 2026 でトルコの AI エコシステムを披露

GITEX Ai Europe 2026 がベルリンで開催され、世界中のテクノロジー企業、スタートアップ、AI エコシステムの主要人物が一堂に会しました。このイベントでは、AI、サイバーセキュリティ、クラウドコンピューティング、量子コンピューティング、デジタルインフラにおける最新のイノベーションが紹介されました。

80 カ国から 800 社以上の企業出展者と AI スタートアップが参加し、参加者の 75% が欧州企業を占めるこのイベントは、欧州を代表するテクノロジーとイノベーションのプラットフォームの一つとなっています。

投資・財務局の調整により、トルコ・パビリオンは、トルコのテクノロジー系スタートアップが国際市場へ進出し、グローバルな投資を呼び込むことを支援するために設立されました。パビリオンでは、AI を活用した E コマース、予測分析、気象インテリジェンス、デジタルトランスフォーメーションソリューションを開発する革新的な企業が紹介され、国際的な投資家やグローバルなイノベーション・エコシステム全体の主要なステークホルダーとつながる機会を提供しました。

トルコ・パビリオンでは、Appcent、B2Metric、Bulutlan、Creentech、Evrin X、FeyoTech、GuardPot、GÜRIŞ、Hipicon、iTÜ ARI Teknokent、Yedir App といったトルコのスタートアップが紹介されました。

GITEX Global エコシステムの欧州版として、GITEX Ai Europe は、トルコのスタートアップに対し、国際的な認知度を高め、新たな投資機会を探り、テクノロジーとイノベーションへの投資の原動力としてのトルコの地位をさらに強化するための貴重なプラットフォームを提供しました。

イベントの一環として、投資・財務局の A・ブラク・ダールオール総裁が、Pathfounders の創設者兼編集者であるマイク・ブッチャー氏がモデレーターを務めるパネルディスカッション「Where Tech Capital Goes Next」に参加し、世界の投資家が AI、データセンター、先端製造分野への長期投資に向

けて、新興のテクノロジーハブをどのように評価しているかに焦点を当てました。討論の中で、ダールオール総裁はトルコのダイナミックなスタートアップエコシステム、魅力的な投資インセンティブ、そして野心的な AI 戦略を強調し、同国のテクノロジービジョンを浮き彫りにしました。

ベルリンでのイベントは、GITEX Ai トルコに先立つ重要なマイルストーンでもあり、テクノロジー、AI、起業家精神の地域ハブとしてのトルコの役割を強化するものです。

投資・財務局が主催し、産業技術省との戦略的パートナーシップのもとで開催される GITEX Ai トルコは、9月9日から10日にかけてイスタンブール・エキスポセンターで開催される予定で、世界の AI およびイノベーション・エコシステムをトルコに結集させます。





投資・財務局がアムステルダムでのレセプションでトルコの投資ポテンシャルを披露

投資・財務局は、同局の設立 20 周年を記念して立ち上げられた「20 Years of Excellence」キャンペーンの一環として、アムステルダムでハイレベルなレセプションを開催しました。在ハーグ・トルコ大使館との協力により開催されたこのレセプションには、ビジネスリーダー、投資家、エコシステムのステークホルダーが集まり、外国直接投資（FDI）誘致におけるトルコの成功と、主要セクター全体で新たに生まれている機会について議論しました。

レセプションで基調講演を行った投資・財務局の A・ブラク・ダールオール総裁は、同局が 2006 年の設立以来、グローバルな投資家ネットワークを強化し、国際的な投資エコシステムの中でトルコを信頼されるブランドとして位置づけるために、国や地域に合わせた個別の取り組みを実施してきたと述べました。

トルコの競争上の優位性を強調し、ダールオール総裁は次のように述べました。「トルコの持続可能な経済成長実績、質の高い人材プール、そして戦略的な立地は、国際的な投資家にとって魅力的な目的地となる重要な要因です」

ダールオール総裁は、トルコが主に中継地点と見なされていた状態から、製造、物流、投資の地域的な原動力へと進化してきたことを強調しました。また、国のビジネス環境をさらに強化するために設計された、最近導入された税制改革や投資インセンティブ措置についての見解も共有しました。

レセプションで講演した駐オランダ・トルコ大使のファトマ・ジェレン・ヤズガン氏は、両国間の強力な経済的・投資的絆を強調し、再生可能エネルギー、持続可能性、先端技術が二国間協力のますます重要な柱になりつつあると指摘しました。

民間セクターを代表して、SHV エナジーの CEO であるパトリック・ファン・デル・フォールト氏は、トルコが同社のグローバル事業において重要な位置を占めていることを強調し、同国で開発された、いくつかの革新的なソリューションが、その後他の市場でも導入されていると述べました。

一方、トランスマーク・リニューアブルズの CEO であるフレデリック・カム氏は、トルコへの投資とビジネス展開に対する満足感を表明しました。カム氏は、投資プロセス全体を通じて投資・財務局が提供した支援を強調し、こうした支援が投資後の事業運営を円滑にしていると述べました。

基調講演の後、参加者はネットワーキング・レセプションに出席し、投資家、ビジネスエグゼクティブ、公共セクターの代表者が意見を交換し、新たなパートナーシップの機会を探る機会となりました。このイベントには、アクゾノーベル、フィリップス、バッテンフォール、コレンドン、ヴェルデル、ライク・ズワーン、ラーベン・グループといった企業のシニア代表者や、ING、ABN アムロ、bunq を含む主要な金融機関の代表者など、両国から幅広いステークホルダーが参加しました。

アムステルダムでのレセプションは、トルコの投資機会を促進し、世界の投資家とのつながりを強化し、トルコへの国際投資を支援してきた投資・財務局の 20 年の歩みを記念することを目的とした、同局のより広範な国際エンゲージメント戦略の一環です。



投資・財務局、ローマでのレセプションで設立 20 周年を祝う

投資・財務局は、ローマで開催された特別なレセプションで設立 20 周年を祝い、トルコとイタリアの政府高官、ビジネスリーダー、投資家が一堂に会しました。

駐イタリア・トルコ共和国大使公邸で開催されたこのイベントは、投資・財務局の A・ブラク・ダールオール総裁と、エルイフ・チョモール・ウルゲン駐イタリア・トルコ大使が共同主催しました。レセプションは、投資・財務局のカントリーアドバイザーであるジーン・コスタ氏によってステージに招かれたダールオール氏とウルゲン氏による基調挨拶で幕を開けました。

ダールオール氏は、過去 20 年間にわたるトルコの経済変革と、投資のための地域的および世界的な拠点としての同国の役割の高まりについて強調しました。

トルコとイタリアの強固な経済的パートナーシップに言及し、ダールオール氏は、二国間の貿易額が約 300 億米ドルに達し、イタリア企業がトルコに 50 億米ドル以上を投資していると指摘しました。同氏は、先端製造業、技術、イノベーション、および第三国とのパートナーシップにおけるさらなる協力の大きな可能性を強調しました。

ウルゲン大使は挨拶の中で、幅広い分野におけるトルコ・イタリア関係の勢いが増していることに触れ、両国首脳の後援のもと昨年開催された第 4 回政府間サミットを経て、二国間協力がさらに強化されたことを強調しました。同大使は、トルコとイタリアの間の政治的・経済的絆の深化が、貿易、投資、戦略的協力のための新たな機会を創出し続けていると述べました。

一方、イタリア企業・メイド・イン・イタリア省のヴァレンティーノ・ヴァレンティーニ副大臣は、両国間の経済協力深化の重要性を強調し、トルコの国際投資エコシステムの強化に対する投資・財務局の貢献を称賛しました。

スパークル・プロダクト・マネジメント、バックボーン&インフラストラクチャー・ソリューションズの副社長であるジュゼッペ・ヴァレンティーニ氏と、ペルフェッティ・ファン・メレ・トルコの CFO で

あるウィリアム・テラモ氏が、それぞれの企業のトルコにおける投資の成功事例について見解を共有しました。

ローマでの「20年の卓越性レセプション」は、投資・財務局の設立20周年記念の一環として開催された一連の国際的な取り組みの一部であり、投資の拠点としてのトルコの地位を促進するための同局の継続的な努力を反映しています。





投資・財務局、北京で中国の投資家と面会

設立 20 周年を記念した中国でのロードショーの一環として、投資・財務局は 2 つの円卓会議を開催し、中国の投資家や幅広いセクターの業界代表者を集め、トルコの投資環境を紹介し、二国間の経済協力を深めるための機会を模索しました。

中国の「一帯一路」構想の下で運営される投資機関であるシルクロード基金と共同開催された最初の円卓会議には、エネルギー、ICT、モビリティ、建設、食品セクターから 20 社以上の企業が集まりました。

参加者に向けて、投資・財務局の A・ブラク・ダールオール総裁は、レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領のリーダーシップの下で実施された 20 年にわたる構造改革を通じて、トルコが地域の大国へと発展したことを強調しました。

ダールオール総裁は、トルコの投資魅力をさらに高めるために設計された新しいインセンティブメカニズムを強調し、本社をトルコに移転し、同国からグローバルな貿易業務を管理する企業は、国境を越えた商取引に対する法人税の全額免除の恩恵を受けることになる旨を指摘しました。

中国機電産品進出口商会（CCCME）と共同開催された 2 回目の円卓会議には、機械、電子機器、ICT、エネルギー、建設セクターから 20 社近くの企業が参加しました。

会議中、ダールオール総裁はエルドアン大統領が発表した「トルコの世紀における投資の原動力」プログラムを紹介し、農業および工業生産におけるトルコの競争力を維持・強化するという政府のコミットメントを改めて表明しました。

この点に関して、同総裁は、すべての製造企業に適用される法人税率が 25 パーセントから 12.5 パーセントに引き下げられることを指摘し、トルコで事業を行う生産者が法人税負担の 50 パーセント削減の恩恵を受けられるようになる旨を述べました。

両方の会合を通じて、ダールオール総裁は、地域経済のハブから世界経済の大国へと発展するというト

ルコの野心を再確認し、中国企業に対し、同国の拡大する投資機会を探求し、活用するよう広く呼びかけました。

「トルコの世紀」のビジョンに導かれ、投資・財務局は、トルコが投資、製造、貿易の結節点としての地位を強化する中で、中国の投資家や業界リーダーとの戦略的パートナーシップを推進することに引き続き取り組んでいます。



投資・財務局、北京でのレセプションで設立 20 周年を祝う

投資・財務局の設立 20 周年を記念して北京で開催された特別レセプションにおいて、トルコの投資エコシステム、戦略的優位性、および長期的な成長の可能性が、中国ビジネス界の主要な代表者らに紹介されました。

投資・財務局と駐北京トルコ共和国大使館が「卓越した 20 年を祝して」をテーマに共同開催したこのイベントには、政府高官、ビジネスエグゼクティブ、投資家が集まり、トルコの投資環境、経済見通し、および二国間協力の深化に向けた機会について議論しました。

レセプションでは、投資・財務局の A・ブラク・ダールオール総裁、駐北京トルコ大使のセルチュク・ウナル氏、およびシルクロード基金の蔡学軍理事による挨拶が行われました。

ウナル大使は演説の中で、トルコと中国の国交樹立 55 周年にあたる 2026 年の重要性を強調し、両国間の長年にわたる絆を強調しました。

投資・財務局のダールオール総裁は、トルコと中国の経済関係が着実に拡大していることを強調し、2002 年以降、中国からトルコへの投資額が 50 億米ドルを超えたことに言及しました。また、現在トルコでは約 1,500 社の中国資本企業と 12 の連絡事務所が順調に事業を展開しており、これはトルコに対する中国の投資家の信頼が高まっていることを反映していると強調しました。

一方、シルクロード基金の蔡学軍理事も、トルコの戦略的な立地と、インフラ、製造、新エネルギー、物流、グリーンエネルギー、デジタル経済における機会の拡大を強調しました。同理事は、シルクロード基金が昨年、投資・財務局の推奨を受けてアンタルヤ・アランヤ高速道路プロジェクトに投資したことに言及しました。

レセプションの期間中、投資・財務局はシルクロード基金および中国機電産品進出口商会（CCCME）と覚書（MoU）を締結し、トルコと中国間の経済および投資関係をさらに強化しました。

Signing ceremony

签约仪式

2026年6月22日，中国北京
June 22, 2026 Beijing, China



Ahmet Burak Dağhoğlu
President of the Investment and Finance Office
of the Presidency of the Republic of Türkiye

艾哈迈特·布拉克·达奥卢
土耳其共和国总统府投资与金融局局长



丝路基金
Silk Road Fund

CAI Xuejun
President of Silk Road Fund

蔡学军
丝路基金总经理





投資・財務局、ベルリンでのハイレベルレセプションで設立 20 周年を祝う

投資・財務局は、設立 20 周年の取り組みの一環として、ベルリンのトルコ大使館にて「トルコへの投資：卓越した 20 年を祝して」レセプションの最新回を開催しました。本イベントには、ドイツのビジネス界の幹部、投資家、外交使節団が集まり、二国間の経済関係、トルコの新たな投資インセンティブ、そして今後数年間のトルコ・ドイツ経済パートナーシップ拡大に向けた戦略的ビジョンについて議論が交わされました。

レセプションでの挨拶の中で、投資・財務局の A・ブラク・ダールオール総裁は、両国間の二国間貿易額が 500 億米ドルを超えており、現在 8,600 社以上のドイツ系企業がトルコで事業を展開していることを強調しました。また、トルコが 2003 年以来、欧州、OECD、および世界平均を上回る年平均 5.3% の成長率を達成していることに言及し、トルコの新たな投資インセンティブパッケージの主な特徴を概説しました。

ダールオール氏は発言の中で、トルコから国境を越えた貿易業務を管理する企業は、法人税の全額免除の恩恵を受けることになり、製造業および農業生産者の法人税率は 12.5% に引き下げられると述べました。また、二国間関係の次の章は、より深い技術協力によって形作られるだろうと強調し、世界的に競争力のある技術チャンピオンを育成するための両国の共通の可能性を強調しました。

駐ベルリン・トルコ大使のギョクハン・トゥラン氏は、経済パートナーとしてのトルコの戦略的重要性をさらに強調し、トルコを欧州経済の不可欠な一部であると表現しました。同氏は、8,700 万人のトルコの若い人口、1.6 兆米ドルの名目 GDP、そして強固な技術エコシステムを主要な強みとして挙げました。トゥラン大使はまた、6 月 19 日にアンカラで開催された第 6 回トルコ・ドイツ合同経済貿易委員会（JETCO）が成功裏に終了し、産業、防衛、関税同盟の近代化における協力について幅広い合意が得られたと述べました。

イベントの傍らで、ドイツ商工会議所連合会（DIHK）の対外貿易担当ディレクターであるフォルカー・トライヤー氏は、トルコへのドイツの投資は明確なウィンウィンのモデルを体現しており、企業が事業を強化し、サプライチェーンの回復力を高めることを可能にしていると強調しました。DHL エクスプレ

ス・ドイツのムスタファ・トンチュ CEO もこの見解に同調し、トルコが世界で 4 番目に急速に成長している E コマース市場であると指摘した上で、イスタンブール空港における DHL のハブ拠点設立に際しての投資・財務局による効果的な調整を称賛しました。

トルコが貿易、技術、投資の結節点としての地位を強化し続ける中、投資・財務局は、ドイツのビジネスコミュニティとの戦略的パートナーシップを深め、投資の原動力としてのトルコの役割を前進させることに尽力しています。



投資・財務局が WEF 夏季ダボス会議でトルコの投資プレイブックを発表

世界経済フォーラム（WEF）が主催する第 17 回ニュー・チャンピオン年次総会（夏季ダボス会議として広く知られる）が、「新時代の起業家精神」をテーマに、中国の大連で世界のリーダーたちを集めて開催されました。

ビジネス、政府、学界、イノベーション・エコシステムから 1,500 人以上のリーダーが集まり、新興技術とイノベーションがアジアおよびその先において、いかに経済成長、競争力、回復力を促進できるかが探求されました。

投資・財務局の中国における 20 周年記念ロードショーの一環として、A・ブラク・ダールオール総裁が「STAR FDI リーダーズ：アジアの投資プレイブック」および「書き換えられた成長マップ」という 2 つのハイレベルセッションに登壇しました。

「STAR FDI リーダーズ：アジアの投資プレイブック」セッションでは、高付加価値の対内直接投資（FDI）の誘致、投資促進政策、そしてグローバルな投資環境の変革に焦点が当てられました。官民の代表者が集まり、持続可能で信頼性が高く、機敏で責任ある投資が、経済成長、雇用、持続可能な開発にどのように貢献するかが議論されました。

議論の中で、ダールオール氏は、今日の投資決定はコスト上の利点だけでなく、信頼、予測可能性、回復力、人材、そして強力な産業エコシステムによってますます形作られていると強調しました。同氏は、長期的なビジョンと投資家の信頼が、高付加価値投資の核心であり続けていると強調しました。

一方、「書き換えられた成長マップ」セッションでは、競争力の新たな原動力、投資フローの変化、地経学的分断の影響、そして新興経済国の成長の可能性について議論が行われました。ダールオール氏は自身の発言の中で、成長と繁栄は異なる概念であると指摘し、世界経済の重心と繁栄の中心はますます東方へとシフトしていると付け加えました。

トルコの強力な産業インフラ、戦略的な接続性、質の高い人材プール、そして進行中の改革アジェンダを強調し、ダールオール氏は、同国が世界的な成長トレンドを上回るパフォーマンスを続けていると述べました。同氏は、トルコが投資家重視のアプローチを通じて国際的なパートナーシップを強化し、新

たなインセンティブメカニズムを導入し、レジェップ・タイップ・エルドアン大統領によって発表された「トルコの世紀における投資の原動力」プログラムを推進していると指摘しました。このプログラムは、これらの利点を次世代の投資機会へと変革することを目的としています。





参加型金融の参加強化に向けた KFIInfo プロトコルに署名

投資・財務局、イスタンブール金融センター、イブン・ハルドゥーン大学は、トルコ参加型金融オープンデータ・情報センター（KFIInfo）を設立するための協力プロトコルに署名しました。

参加型金融エコシステムの制度的インフラを強化するために設計された KFIInfo は、データ、法規制、研究、分析、およびセクター固有のコンテンツを一つ屋根の下に集約する包括的なプラットフォームとして機能します。

公共機関、民間セクター組織、学界、市民社会、そして国際的なステークホルダーによって作成されたコンテンツは、このプラットフォームを通じて、より広範なエコシステムがアクセスできるようになります。

このプロトコルは、投資・財務局の A・ブラク・ダールオール総裁、イスタンブール金融センターのアーメット・イフサン・エルデム CEO、およびイブン・ハルドゥーン大学のアティラ・アルカン学長によって署名されました。

このイニシアチブの戦略的重要性を強調し、ダールオール氏は、KFIInfo が参加型金融に関するトルコで最も包括的なリファレンス・プラットフォームとなり、金融リテラシーを向上させ、情報に基づいた意思決定を支援することになると指摘しました。

そして、KFIInfo が世界の参加型金融エコシステムにおけるトルコの認知度と競争力を高めることになると付け加えました。

この取り組みは、金融の結節点としてのトルコの地位をさらに強化し、参加型金融の分野における知識共有、イノベーション、国際協力を促進するものです。





トルコ、FII PRIORITY Europe で資本フローについて議論

投資・財務局の A・ブラク・ダールオール総裁は、アラムコの戦略・市場分析担当シニア・バイス・プレジデントであるファハド・アル・ドゥバイブ氏、GFH 銀行の CEO 兼取締役であるヒシャム・アーメド・アルライエス氏、HSBC グローバル・トレード・ソリューションズの責任者であるヴィヴェック・ラマチャンドラン博士と共に、ローマで開催された FII PRIORITY Europe 2026 サミットにおいて、「欧州の再考：資本、主権、戦略的自律性」をテーマに、地経学がどのように供給ルートと資本フローを塗り替えているかについて議論しました。

ザ・ナショナル・ニュースの地経学担当編集者であるマヌス・クラニー氏がモデレーターを務めたこのセッションでは、ますます断片化する世界情勢において、貿易パターンの変化、戦略的自律性、強靱なサプライチェーン、エネルギー安全保障、そして長期的な投資戦略がもたらす影響について探求しました。議論は、政府、投資家、企業が、世界市場における持続可能性、安全性、開放性を確保しつつ、いかにして競争力を強化できるかに焦点を当てました。

投資決定におけるレジリエンス（回復力）の重要性が高まっていることを強調し、ダールオール氏は次のように述べました。「私たちは、アジア諸国からトルコへの出荷が急速にシフトしているのを目の当たりにしています。なぜなら、私たちは迅速に行動し、柔軟性を持ち、顧客のニーズに容易に適応できるからです」また、次のように付け加えました。「投資家は何よりもまず、市場へのアクセスと効率的に機能するサプライチェーンを必要としており、トルコはその両方を提供することができます」

投資・財務局は、グローバル・バリュー・チェーンへの近接性、高度な製造能力、熟練した人材プール、そして強靱な経済を通じて、投資の原動力としてのトルコの地位を強化し続けています。





ドイツ・トルコ・ビジネスコミュニティが投資見通しを議論

AHK トルコ・ドイツ商工会議所の第 35 回年次総会の一環として開催された「トルコにおける投資インセンティブと国際的な投資見通し」と題された経済会議には、トルコおよびドイツのビジネスコミュニティから著名な代表者が集まりました。

本会議では、投資インセンティブ、世界的な投資トレンド、そしてトルコの投資環境における最近の動向に焦点が当てられました。

投資・財務局の A・ブラク・ダールオール総裁は基調講演を行い、トルコへの対内直接投資（FDI）の主要な供給源の一つとしてのドイツの長年にわたる地位を強調し、同国の投資環境に関する最新の知見を共有しました。

講演に続き、ダールオール氏は AHK トルコのブルクハルト・ヘレマン事務総裁がモデレーターを務める質疑応答セッションに参加しました。

本イベントでは、TOBB のタメル・クラン副会長、在イスタンブール・ドイツ総領事のレンゲ・グリーエンベルガー博士、AHK トルコのビゲ・ユージェル会長による開会の辞も行われ、トルコとドイツの経済的パートナーシップの強さと深さが強調されました。





投資・財務局がブリュッセルのレセプションでビジネスリーダーに投資機会を紹介

投資・財務局の設立 20 周年を記念してブリュッセルで開催された特別イベントにおいて、トルコの投資エコシステム、戦略的優位性、長期的な成長の可能性が、欧州ビジネス界の主要な代表者に向けて発表されました。

「20 年の卓越性を祝う」をテーマに、投資・財務局と駐ブリュッセル・トルコ共和国大使館が共催したこのイベントには、政府高官、企業幹部、投資家が集まり、トルコの投資環境と経済見通しについて議論しました。

レセプションでは、投資・財務局のベキル・ポラット副総裁、駐ブリュッセル・トルコ大使のバルシュ・タンテキン氏、VBO-FEB のルネ・ブランダース会長、プラトス社のアジア・中東・アフリカ担当財務責任者エレン・ドゥームス氏、カトエン・ナティ社の EMEA 地域コマーシャル・ビジネス開発マネージャーであるヘルト・デ・ローヴェレ氏など、著名な講演者による挨拶が行われました。

投資・財務局のベキル・ポラット副総裁は挨拶の中で、トルコの経済実績と投資環境の概要を説明し、トルコが過去 20 年間で約 2,800 億米ドルの対内直接投資（FDI）を誘致してきたと述べました。同氏は、これがトルコの長期的な可能性に対する投資家の信頼を反映していると述べました。

ポラット氏はトルコの経済的回復力と持続的な成長軌道を強調し、同国が 1.6 兆米ドルの経済規模に達し、過去 20 年間で世界で最も急速に成長している経済の一つであることを指摘しました。また、同氏は経済改革と投資環境の改善に対する政府のコミットメントを再確認し、トルコが国内外の投資家に対して平等な待遇と国際仲裁メカニズムへのアクセスを提供する、世界で最も自由な投資枠組みの一つを提供していることを強調しました。

駐ブリュッセル・トルコ大使のバルシュ・タンテキン氏は、トルコと欧州連合（EU）間の強力な経済的結びつきを強調し、二国間の貿易額が現在約 2,200 億米ドルに達していると指摘しました。同氏は、

EU・トルコ関税同盟の近代化により、今後 10 年間でこの数字が倍増する可能性があり、トルコ企業と欧州企業の双方に大きな機会が創出されると強調しました。

プログラムでは、投資・財務局のカントリーアドバイザーであるエテム・トクギョズル氏がモデレーターを務めるパネルディスカッションも行われ、ベルギーの主要企業や経済団体の代表者が、トルコでの事業運営や投資の経験を共有しました。

レセプションはネットワーキングセッションで締めくくられ、参加者は投資の見通しを探り、トルコと欧州間のビジネス関係を深めるためのさらなる機会を得ました。

20 周年記念の一環として、投資・財務局は世界の 20 の戦略的拠点において 20 回のレセプションイベントを開催しており、投資の原動力としてトルコの投資機会を世界のビジネスおよび投資コミュニティに促進しています。



BIO 2026 で注目されるトルコのバイオテクノロジーの可能性

投資・財務局は、トルコの急速に成長するバイオテクノロジーおよびライフサイエンスのエコシステムを紹介するため、トルコ・バイオテクノロジー・バレー（BiOSB）と共に BIO インターナショナル・コンベンション 2026 に参加しました。

コンベンション期間中、同局はバイオテクノロジー、製薬、ヘルスケアテクノロジー企業と連携し、研究開発、高度な製造、地域運営の拠点としてのトルコの強みを強調しました。

開会式で、投資・財務局のベキル・ポラット副総裁は、強力な医療インフラ、研究能力、デジタルエコシステム、そして高度なスキルを持つ人材プールに支えられ、トルコがヘルスケア・イノベーションにおける高付加価値投資の優先的な目的地となるという野心を強調しました。同氏はまた、トルコの戦略的な接続性を強調し、4 時間の飛行圏内で 13 億人の消費者と 32.1 兆米ドルの市場へのアクセスを提供していると述べました。

トルコ・バイオテクノロジー・バレーの会長であるエルジャン・ヴァルルバシュ博士は、研究、開発、生産、商業化を単一のエコシステム内に統合するというビジョンを再確認し、バイオテクノロジー分野における地域リーダーとしてのトルコの地位をさらに強化しました。



トルコ、サンディエゴで投資の卓越性 20 周年を迎える

設立 20 周年を記念して、投資・財務局は、在ロサンゼルス・トルコ総領事館およびトルコ・バイオテクノロジー・バレーと協力し、サンディエゴのホール・オブ・ネイションズにて最新のレセプション「Invest in Türkiye: 20 Years of Excellence」を開催しました。

このレセプションには、著名な投資家、経営幹部、研究者、エコシステムのリーダーが集まり、トルコの競争上の優位性、統合されたサプライチェーン、そしてバイオテクノロジー、先端製造、デジタルトランスフォーメーションにおける拡大する機会にスポットライトを当てるハイレベルなプラットフォームとして機能しました。

レセプションには、トルコ・ウェルス・ファンドのアルダ・エルムト CEO 兼理事も出席し、FDI（外国直接投資）誘致に向けたトルコの長期的な戦略的ビジョンについて講演を行いました。

投資・財務局のベキル・ポラット副総裁は挨拶の中で、トルコの戦略的な立地と、ヨーロッパ、中東、中央アジアの市場への玄関口としての役割を果たす能力に言及し、投資の地域的拠点としてのトルコの役割が高まっていることを強調しました。

レセプションでは、トルコ・バイオテクノロジー・バレーの会長であるエルジャン・ヴァルルバシュ博士、incTANK Ventures のマネージングパートナーであるカール・ルーピング氏、Tiba Biotech の CEO 兼 EnaBridge Ventures の共同創設者であるウフク・エレン氏による挨拶も行われ、バイオテクノロジーと先端製造におけるトルコのグローバルな魅力の高まりや、イノベーション主導型投資の主要な目的地としての可能性についての洞察が共有されました。



OIC 青年起業家精神がイスタンブールで脚光を浴びる

「OIC 青年起業家カンファレンス 2026」は、イスラム協力機構（OIC）加盟国から若手起業家、投資家、政策立案者をイスタンブールに集めました。

投資・財務局が、トルコ共和国外務省、産業技術省、トルコ共和国青年スポーツ省、およびイスラム協力青年フォーラム（ICYF）と共同開催したこのカンファレンスでは、起業家精神、投資、イノベーションの未来に関するハイレベルな議論が行われました。

プログラムには、イスタンブールのダヴット・ギェル知事、投資・財務局のベキル・ポラット副総裁、ゼケリヤ・ジョシュトゥ産業技術副大臣、エネス・エミノール青年スポーツ副大臣（博士）による挨拶のほか、OIC 機関や加盟国の高官代表者による挨拶が含まれていました。

ベキル・ポラット氏は開会の挨拶の中で、世界的な投資トレンドの変容に触れ、戦略的投資がますます人材、イノベーション、デジタルインフラ、コンピューティングパワーによって推進されていることを強調しました。

ポラット氏は、同国が過去 20 年間で平均 5.3 パーセントの年間成長率を達成し、投資の原動力および人材の結節点としての地位をさらに強化したと述べました。





ターミナル・イスタンブールがグローバル・テック・コミュニティを主催

ターミナル・イスタンブールとニューヨークを拠点とするグローバルなテック・ネットワーキングコミュニティ「42Geeks」が共同開催した「Tech.Game.Invest.Connect」は、ビレシム・ヴァディス・イスタンブールに投資家、創業者、運営者、エコシステム構築者を集めました。

このイベントでは、トルコのダイナミックなゲーム産業、投資環境、AIを活用したマーケティング、クリーンエネルギー、ロボット工学、フィンテック、海洋技術にわたる刺激的な議論が行われました。

投資・財務局コミュニケーション部門のギョクハン・ユジェル部長は、トルコの強靱で多様化した経済、強力な産業能力、そして世界の結節点としての戦略的な位置付けを強調するプレゼンテーションを行いました。ユジェル氏はまた、経済的強靱性、人道的関与、平和構築能力、持続可能性主導の成長を組み合わせ、360度のパワーとしてのトルコの台頭を強調しました。



トルコ、バクーで参加型金融協力を深化

投資・財務局は、参加型金融、起業家精神、持続可能な開発における国際協力を強化するため、バクーで一連のハイレベルな会議やエンゲージメントを開催しました。

同局は、経済資源研究センター（SER）と覚書（MoU）を締結しました。この覚書は、投資・財務局金融部門長のタリク・アキン博士と SER 所長のルスラン・アタキシエフ博士が代表を務め、Katılım Genç Gelişim (KGG) プログラムの国際的な拡大を支援し、アゼルバイジャンからの学生 100 名の参加を促進することを目的としています。

イスラム開発銀行（IsDB）グループの 2026 年年次総会の一環として、同局は展示ブースを通じて、トルコの「投資の原動力」というビジョン、最新の投資インセンティブ、および参加型金融エコシステムを国際的なステークホルダーに紹介しました。

ブースには、IsDB のムハンマド・アル・ジャッサー総裁、アゼルバイジャンのサヒル・ババエフ財務大臣、トルコのオスマン・チェリキ財務副大臣、イスラム諸国統計・経済・社会調査研修センター（SESRIK）のゼフラ・ズムルート・セルチュク所長など、著名な来賓が訪れました。タリク・アキン博士は、「気候とエネルギー転換のためのイスラム金融の動員」と題された円卓会議にもスピーカーとして参加しました。

また、同局は経済改革分析通信センター（CAERC）と会合を持ち、トルコ系諸国全体のスタートアップ企業の投資プロセスを円滑化することを目的としたプラットフォームの設立について協議しました。

この会合には、タリク・アキン博士、エンタープライズ・アゼルバイジャンのイサ・ガシモフ代表、トルコ世界研究センターの代表のイリヤス・フセインノフ博士、およびプロジェクトマネージャーのアイダン・フセインザーデ氏が出席し、スタートアップ・エコシステムの強化とトルコ系諸国間の地域協力拡大の重要性が強調されました。



トルコのベンチャー企業が「We Make Future 2026」で国際投資の舞台へ

投資・財務局は、「We Make Future (WMF) 2026」において専用のトルコ・パビリオンを通じてトルコのイノベーション・エコシステムを紹介し、高いポテンシャルを持つトルコのスタートアップ企業を世界の投資家、テクノロジー企業、ベンチャーキャピタルファンドと引き合わせました。

イタリアのボローニャで開催されたこのイベントには、世界をリードする投資家、テクノロジー企業、ベンチャーキャピタルファンド、イノベーション関係者が一堂に会しました。投資・財務局の調整のもと、Madlen、Bomensoft、Pixselect、Text2Test、Werover、Pabli、Messagegate という 7 社の革新的なトルコのスタートアップ企業が、自社の技術を紹介し、国際的な投資家や潜在的なビジネスパートナーと交流しました。

AI、先端技術、デジタルトランスフォーメーション、起業家精神における世界有数のプラットフォームとして知られる WMF は、2025 年には 73,000 人以上の参加者、90 カ国以上の代表者、700 社以上のスポンサーおよび企業、3,000 社以上のスタートアップ企業やオープンイノベーション関係者を惹きつけました。このイベントは、スタートアップ企業を投資家や戦略的パートナーと直接結びつける重要なグローバルプラットフォームとしての役割を果たしました。

トルコ・パビリオンは、同国のダイナミックな起業家エコシステムと技術主導の成長の可能性を強調するとともに、参加するスタートアップ企業にさらなる国際的な認知度を提供しました。投資家とのミーティング、B2B マッチングセッション、ネットワーキングの機会を通じて、この取り組みは新たな戦略的パートナーシップの構築を促進し、トルコのスタートアップ企業の国際市場への進出を支援しました。

投資・財務局のカントリーアドバイザーであるジーノ・コスタ氏も、「飛躍的な発展：デジタルソリューションと社会的インパクト」と題されたパネルディスカッションに登壇し、トルコの新しいインセンティブプログラム「トルコの世紀における投資の原動力」を紹介するとともに、政府がトルコにおけるス

スタートアップ企業の成長の旅路をどのように支援しているかを説明しました。

「トルコの世紀における投資の原動力」プログラムの枠組みの中で WMF 2026 期間中に行われたこれらの取り組みは、トルコのスタートアップ企業と国際的な投資ネットワークとのつながりをさらに強化し、新たなビジネスコラボレーションを促進し、世界的な舞台におけるトルコの起業家エコシステムの推進に貢献しました。

投資・財務局は、高付加価値ベンチャーの成長を支援し、国境を越えた投資機会を促進する国際的なプラットフォームに積極的に参加することで、トルコのテクノロジーおよびイノベーション・エコシステムのグローバルな認知度を高める取り組みを継続しています。





トルコがロンドン・テック・ウィーク 2026 で技術および投資エコシステムを披露

欧州最大かつ最も影響力のある技術フェスティバルの一つであるロンドン・テック・ウィークがオリンピック・ロンドンで開催され、90 カ国以上からイノベーター、投資家、技術リーダーが集結しました。トルコは投資・財務局の調整の下で本イベントに参加し、カザフスタン、ウズベキスタン、キルギスの3つのトルコ系共和国と提携して、フェアで最大のナショナルパビリオンを主催しました。代表団は、貿易省の「権威あるフェア」指定による支援を受け、60 社、7つのテクノパーク、250 名を超える代表者で構成されました。

イベント期間中、投資・財務局は、トルコの急速に拡大するスタートアップおよびイノベーションの状況を促進するために、国際的な投資家、ベンチャーキャピタルファンド、およびテクノロジー企業と連携しました。カントリーアドバイザーの Enes Güzel 氏は、レジェップ・タイップ・エルドアン大統領が「トルコの世紀における投資の原動力」をテーマに発表した投資プログラムを紹介し、カントリーアドバイザーの Ersoy Erkazancı 氏は、トルコの活況を呈するスタートアップエコシステムと成長するベンチャーキャピタルの状況を強調し、金融投資家にとって最高の目的地としてトルコを提示しました。

駐ロンドン・トルコ大使の Osman Koray Ertaş 氏は、今年のナショナルパビリオンの規模は、世界的な人工知能革命における主要なプレーヤーになるというトルコの決意を反映していると強調しました。Ertaş 大使はさらに、公的機関、民間セクター、学界の調整された取り組みにより、トルコは、幅広い高成長産業において東側および西側のプレーヤーと競合できる、世界的に競争力のある技術ハブとしての地位を確立したと強調しました。

投資環境について、Erkazancı カントリーアドバイザーは、「トルコの世紀における投資の原動力」プログラムによって生み出された強い国際的な関心を強調し、トルコの防衛技術に対する投資家の意欲の高

まりや、持続可能で環境に優しい技術における同国の新たな役割に言及しました。また、COP31 の開催国としてのトルコの今後の役割が、これらの分野における同国の魅力をさらに高めることが期待されると強調しました。

「トルコの世紀」のビジョンに導かれ、トルコはグローバル・エコシステムにおける技術、イノベーション、投資の結節点としての地位を再確認し、ロンドン・テック・ウィーク 2026 の期間中、資本、起業家精神、持続可能な成長のための地域随一の原動力としての地位をさらに強固なものにしました。



ANT Systems がトルコで NANOTERN の産業規模生産を開始

農業ナノテクノロジー企業の ANT Systems は、農業における干ばつの課題に対処するために設計された、生分解性のセルロース系保水材である NANOTERN™の産業規模での生産を開始しました。サバンジュ大学での 15 年にわたる科学研究を通じて開発されたこの技術は、イスタンブールのトゥズラにある新施設で製造され、年間生産能力は 3,000 トンとなります。

ANT Systems Holding B.V.を通じてハーグに本社を置き、研究開発および生産拠点をイスタンブールに置く同社は、これまでに約 500 万米ドルの資金を調達しました。世界的な特許権に裏打ちされた同社の技術ポートフォリオは、2,500 万米ドル以上の価値があると評価されています。

すでに米国、南米、湾岸地域、アフリカの一部で展開されている NANOTERN™は、土壌がより長期間水分を保持し、必要な時に植物に供給できるように設計されています。イスタンブールの歴史的な貯水槽に着想を得たこの生分解性ナノ材料は、自重の最大 1,800 倍の水分を吸収することができます。同社によると、この技術は灌漑用水の消費量を最大 50%削減し、農業生産性を最大 25%向上させ、肥料やその他の農業資材の効率を改善することができるということです。

同社は、主要な世界的農業企業によって同様の超吸収性および徐放性技術が模索されているものの、そのほとんどはまだ実験室段階または試験段階にあると述べています。ANT Systems は、現場で実証された結果を伴う特許取得済みソリューションの産業規模での生産を実現した最初の企業としての地位を確立しています。

開会式には、トルコ大国民議会の農業・林業・農村問題委員会の委員長であるヴァヒト・キリシ教授、サバンジュ財団理事長のギュレル・サバンジュ氏、農業農村開発支援機関（TKDK）総裁のアフメト・アブドゥッラー・アンタルヤル博士、サバンジュ大学学長のユスフ・レブレヴィジ教授をはじめ、政府、学界、産業界の著名な代表者や、国際的なゲスト、セクターのステークホルダーが一堂に会しました。KOSGEB と TÜBİTAK からの資金援助を受けている ANT Systems は、最近、シリーズ A 前の投資ラウンドで 300 万米ドルを確保しました。同社のイスタンブールにある統合キャンパスは、R&D 研究所、企業オフィス、製造施設を一つ屋根の下に集約しており、先端農業技術と持続可能なイノベーションにおけるトルコの地位を強化しています。



投資・財務局がソフィアでトルコの投資機会を紹介

第3回 AmChams 地域経済サミット (ARES 2026) には、ユーラシア全域から大使、政府関係者、投資促進機関、ビジネスリーダー、民間セクターの代表者が集まり、地域経済協力、投資機会、国境を越えたパートナーシップについて議論しました。

ギリシャ、ブルガリア、トルコの米国商工会議所が主催する ARES は、貿易、投資、ビジネス協力を促進するための主要な地域プラットフォームとしての地位を確立しています。ソフィアで開催された今年のサミットには、18 カ国から 310 名を超える参加者が集まり、300 回以上の B2B ミーティングが促進され、官民の対話のための貴重な機会が創出されました。

投資・財務局セクター活動ユニットマネージャーのムスタファ・エルドンメズ氏は、ブルガリア、モルドバ、アルメニアの投資促進機関の代表者とともに、「投資促進機関：戦略的投資を通じた地域成長の推進」というセッションにパネリストとして参加しました。

議論の中でエルドンメズ氏は、トルコの投資エコシステム、国際的な投資家を支援する同局の役割、そして投資の地域的拠点としての同国の戦略的優位性を強調しました。また、セクター別の投資機会、投資環境における最近の動向、そして持続可能な経済成長を促進するための地域協力強化の重要性について見解を共有しました。



MINEX Asia 2026 で強調されたトルコの重要鉱物に関するビジョン

第12回 MINEX Asia 2026 鉱業・探査フォーラムは、「大陸をつなぐ：ミドルコリドー全体で強靱な鉱業エコシステムを構築する」をテーマに、トルコ、中央アジア、南コーカサス、ヨーロッパ、北米、アジアの主要な業界関係者をアンカラに集めました。

投資・財務局は公式パートナーとして参加し、国際的な鉱業アジェンダの形成におけるトルコの積極的な役割を強調しました。

パネルディスカッション「トルコの鉱業ビジョン：輸出成長と戦略的自律性」において、投資・財務局プロジェクトマネージャーのオズカン・オズカルデシュ氏が、重要鉱物に対するトルコのビジョンを発表しました。同氏は、新しい投資インセンティブプログラム「トルコの世紀における投資の原動力」の枠組みの中で、トルコがグローバルなビジネスコミュニティに提供する機会について概説しました。

またオズカルデシュ氏は、高水準の輸送インフラに支えられた鉱業物流におけるトルコの地政学的地位と、強固な物流ネットワークに支えられた戦略的な大陸横断貿易ルートとしてのミドルコリドーの効率性を高める上での同国の役割を強調しました。

トルコは、より強靱な重要鉱物のサプライチェーンに貢献し、産業の変革を支援するための国際協力を促進することで、投資の原動力としての地位を強化し続けています。



Labeau がチャナッカレに大規模なラン組織培養研究所を開設

ベルギーの園芸企業 Microflor とドイツの Hark/Sion のパートナーシップにより、チャナッカレ組織工業団地（OIZ）に Labeau が正式に開設されました。Labeau ネットワークにおける 6 番目の研究所として、当施設はグループ内で最大規模となる予定であり、年間 2,500 万から 3,000 万本のコショウランの生産能力を有します。

この最先端の研究所は、Microflor Biyoteknoloji ve Tarım Sanayi A.Ş. が 2021 年に立ち上げ、2025 年の Labeau 設立を受けてさらに拡張されたプロジェクトの成果です。新施設は、高度な研究、育種、繁殖活動を支援し、高品質な植物遺伝学および世界中の生産者向けのソリューションを提供する主要なグローバルプロバイダーとしての Labeau の地位を強化します。

チャナッカレ研究所の追加により、トルコは Labeau のグローバルなラン組織培養ネットワークにおける 6 番目の拠点となります。ドイツ、ベルギー、米国、スロバキアの施設に加え、今回の新たな投資は、追加の生産能力を提供するだけでなく、戦略的な生産および貿易拠点としてのトルコの役割を強化するものです。

開所式には、国際的なパートナー、地域のステークホルダー、サプライヤー、顧客、および園芸業界の代表者が集まりました。招待客は公式のテープカット式に出席し、研究所を見学した後、会社代表者や招待客からの挨拶に耳を傾け、その後、地域のパートナーやステークホルダーとのネットワーキング・レセプションに参加しました。



リヤドでサウジアラビア・トルコ円卓会議が開催される

トルコ共和国大統領府投資・財務局は、DEİK（外国経済関係委員会）/トルコ・サウジアラビア・ビジネス・カウンシル代表団の訪問の一環として、リヤドのサウジアラビア商工会議所連合で開催されたサウジアラビア・トルコ円卓会議に参加しました。

イベント中、カントリーアドバイザーのジュネイト・サルチメン氏はトルコの投資環境についてプレゼンテーションを行い、戦略的セクターにおける機会と、国際的な投資家に対する当局の包括的な支援について強調しました。

「トルコとサウジアラビアの間の高まる相乗効果は、相互の経済成長に向けた前例のない機会をもたらしています」とサルチメン氏は述べました。「当局は、高付加価値の投資を促進し、両国のビジネスコミュニティ間の永続的なパートナーシップを育むことに引き続き尽力してまいります」

この会議は、トルコとサウジアラビアの間の強固な経済的パートナーシップを再確認するとともに、投資、協力、そして長期的な成長のための新たな機会を創出しました。



トルコ、インドネシアでのイスラム金融対話に参加

インドネシア証券取引所（IDX）が共催した IFN インドネシア・フォーラム 2026 には、イスラム金融、資本市場、投資、銀行、規制、テクノロジーのエコシステム全体から主要な関係者が集まり、シャリア準拠金融の未来について議論しました。

投資・財務局のカントリーアドバイザーであるビラル・イルハン博士は、イスラム資本市場および投資に関する対話セッションにパネリストとして参加し、地域のイスラム投資トレンド、シャリア準拠の資本動員、投資エコシステムの開発、そしてトルコ、インドネシア、およびより広範なイスラム金融情勢の間の国境を越えた協力の機会について見解を共有しました。

イルハン氏はまた、IFN クローズドドア・ダイアログ II（インドネシア・イスラム投資対話）にも参加し、業界のリーダーや専門家が、シャリア準拠ファンド、プライベート・エクイティ、代替投資など、インドネシアのイスラム投資セクターの成長の可能性について探求しました。議論は、革新的な資本構造、ESG 統合、デジタル金融ソリューション、規制支援メカニズム、および国際協力のための枠組みに焦点を当てました。

フォーラム全体を通じて、参加者は、持続可能で強靱、かつ世界的に接続された金融エコシステムを支援する上で、イスラム資本市場、プライベート・エクイティ、ESG 統合、デジタル金融インフラ、および革新的なシャリア準拠の投資構造の重要性が高まっていることを強調しました。



アムステルダムでトルコの投資見通しについて議論

投資・財務局は、オルタナティブ投資業界における世界有数の集まりである、アムステルダムで開催された SuperReturn Emerging Markets に参加しました。

イベントの一環として、投資・財務局のカントリーアドバイザーであるエテム・トクギョズル氏が、「トルコ：混乱と機会」と題されたセッションのモデレーターを務め、フランクリン・テンブルトン・トルコの CEO であるエルマン・カルカンドレン氏と、グローバルターク・キャピタルの創設者兼マネージングパートナーであるバルシュ・オネイ氏が登壇しました。

この議論では、トルコに対する投資家のセンチメント、プライベート・キャピタル市場のトレンド、セクター別の機会、出口戦略のダイナミクス、そして将来の投資の見通しについて検討されました。

世界中から LP、GP、ファンドマネージャー、ファミリーオフィスが一堂に会したこのイベントは、世界の投資家と関わり、トルコの進化する投資環境を強調するための貴重なプラットフォームとなりました。



トルコが韓国における投資機会を強調

投資・財務局は韓国で一連のロードショーを実施し、インフラ、物流、エネルギーセクターの主要企業や機関と連携しました。

8回にわたるハイレベルな会合において、同局はトルコの投資機会を提示し、主要なセクターの動向について意見を交換し、プロジェクト固有の投資見通しを含む潜在的な協力分野を模索しました。

会合には、投資・財務局のカントリーアドバイザーであるタハ・サラン氏とレイチェル・イ氏、プロジェクトマネージャーのオズカン・オズカルデシュ氏、専門家のハルン・コクサル氏が出席しました。



ギーセンで三者間の投資機会について議論

IHK ギーセン・フリードベルクが主催した国際ネットワーキング会議「The World Meets in Giessen 2026」には、投資家、政策立案者、ビジネスリーダーが集まり、アフリカおよびその先における新たな機会を模索しました。

投資・財務局のカントリーアドバイザーであるファルク・クルトゥルムシュ氏は、「外国直接投資のための成功戦略」と題されたパネルディスカッションに参加し、エンジニアリング、製造、新興市場での経験、インフラ開発における補完的な強みに基づく、ドイツ・トルコ・アフリカの三者間パートナーシップが持つ大きな可能性を強調しました。

会議を通じて、参加者は国際的なビジネス代表者や意思決定者と、戦略的パートナーシップがどのようにグローバル市場で新たな機会を創出できるかについて見識を交換しました。

WHY TÜRKİYE

TÜRKİYE: HUB FOR INNOVATION AND GROWTH

Within a 4-hour flight, easy access to multiple markets of USD 32.1 trillion GDP, USD 10.3 trillion trade, and 1.3 billion people.

Booming economy reaching **1,358 billion in 2024**, up from USD 238 billion in 2002.

Over **USD 288 billion** of FDI between 2003-2025, while the total amount of FDI attracted between 1980-2002 stood at USD 15 billion.

ACCESS TO MULTIPLE MARKETS

EURASIA

GDP: \$2.8 trillion
Import: \$467 billion
Population: 244 million

EUROPE

GDP: \$24.9 trillion
Import: \$8.3 trillion
Population: 595 million

MENA

GDP: \$4.4 trillion
Import: \$1.5 trillion
Population: 472 million

TOTAL

GDP: \$32.1 trillion
Import: \$10.3 trillion
Population: 1.3 billion

Source: IMF, WTO, TurkStat 2024

REAL GDP GROWTH

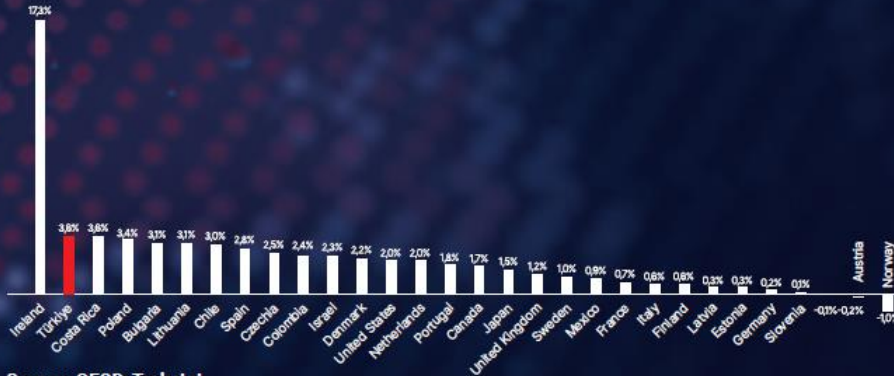
(2025-H1, year on year growth)

G20 Economies



Source: OECD, Turkstat

OECD Economies



Source: OECD, Turkstat

TÜRKİYE

was the fastest growing economy of the OECD members during 2003-2025, with an average annual growth rate of

5.3%

CUMULATIVE FDI INFLOWS TO TÜRKİYE

(USD BILLION)



Source: CBRT

- Investment incentives as well as R&D support.
- Equal treatment to national and global investors guaranteed by law.
- 7 days to set up a company in Türkiye, while it takes an average of 8,5 days in OECD high-income countries.
- (World Bank Doing Business 2020)

HIGHLIGHTS

The fastest growing economy in Europe and one of the fastest growing economies in the world with an average annual GDP growth rate of 5.3% over the past 21 years.

(2003-2024, TurkStat)

SOPHISTICATED CONSUMER BASE

A population of 86.1 million, half of which is under the age of 34,9.

(2024, TurkStat)

Largest youth population compared with the EU.

(2023, Eurostat)

98.2 million fixed and mobile broadband internet subscribers.

(2024, Information and Communications Technologies Authority)

SKILLED AND DEDICATED LABOR FORCE

Around 36 million young, well-educated and motivated professionals.

(2024, Turkstat)

Around 960,000 students graduate annually from 208 universities.

(2024, CoHE)

TÜRKİYE'S INFRASTRUCTURAL DEVELOPMENT

💰 **USD 215 Billion**

Total value of PPP contracts in Türkiye during the 1986-2024 period.



272

Total number of PPP projects completed in Türkiye during the 1986-2024 period.



27,797

Total number of hospital beds under PPP projects.
18 healthcare campuses have been completed with a total number of 27,797 bed capacity.



58

Number of airports in Türkiye increased from 26 in 2002 to 58 by 2024.

Who we are

Investment and Finance Office is the official organization that:

- Promotes the investment environment of Türkiye and provides assistance to investors.
- Reports directly to the President of the Republic of Türkiye.

How we help

- Multilingual (Turkish, English, German, French, Italian, Arabic, Spanish, Chinese, Japanese and Korean)
- One-Stop-Shop approach
- Result-oriented
- Private sector approach with full confidentiality
- Focusing on high-tech, value-added and employment generating investments.

What we do

- Presenting investment opportunities to the investors and providing assistance during all the stages of their investments.
- Serving as the reference point for international investors and the point of contact for all institutions engaged in promoting and attracting investments at national, regional and local levels.
- Offering free-of-charge services including market information and analyses, site selection, B2B meetings, coordination with relevant governmental institutions, and facilitating legal procedures and applications such as establishing business operations, incentive applications, obtaining licenses and work permits.

OUR GLOBAL LOCATIONS

	USA
	GERMANY
	ITALY
	SPAIN
	NETHERLANDS
	TÜRKİYE
	S. ARABIA
	UAE
	QATAR
	CHINA
	S. KOREA
	JAPAN
	UK
	SINGAPORE
	MALAYSIA

SECTORS

Agrofood
Automotive
Chemicals
Defense & Aerospace
Energy
Financial Investments & Startups
ICT
Infrastructure
Life Sciences
Machinery
Business Services
Financial Services
Mining & Metals
Real Estate
Tourism



Explore untapped investment opportunities across a variety of industries in Türkiye.

FOLLOW US



@InvestTurkey
@InvestTurkiyeAR
@InvestTR_DACH
@InvestTR_JAPAN



@InvestTurkey
@investinturkiyear
@investinturkeyDE



@invest-in-turkey
@investinturkiyear
@investtrdach



@InvestinTürkiye



@investinturkiye_en
@investinturkiye_ar



SUBSCRIBE

